

「生きがいづくり」テーマに挑む

公益社団法人戸田市シルバー人材センター（埼玉県）
主査 白井 義則

「あなたの生きがいは、何ですか？」

センターに採用されて数年がたち、就業紹介のみの事業に疑問を感じたことから、仲の良かった会員に聞いて回った時期がありました。そして、その答えは予想通り、私が紹介した就業ではありませんでした。

「趣味の写真だよ」「釣りだ」「孫の世話だね」「マジジャンだよ。あんなちゃんも一緒にやるかい？」…十四年前、就業を紹介していたらば会員は満足なんだろうという傲

慢な思い込みがあり、さまざまな就業を紹介しました。しかし、定款の目的に書かれていた「生きがいの充実」がシルバー人材センターの目的、だという一文が、いつも心の片隅に引つ掛かっています。

また、就業を紹介した際にも、楽しくない表情で「生活のためだけに就業している」と、面と向かって話す人も多くいました。

「生きがい」とは何なのか？当時の私の仕事ぶりも、生活のためにやっている。側面が強かった

ことを覚えていきます。果たして自分は「生きがい」をつくれる存在なのか？

このままではいけない。自分も仕事も、何か変えなければと葛藤の末、自分も含めた「生きがいづくり」というテーマに挑むことを決めたのです。

●本気で「生きがいづくり」を

挑むのを決めたのはいいが、さて何から…。きっかけは相変わらず悶々とした日々でのちよつとした出会いでした。

当時の私は遊びが大好きで、友人と遊び回っていました。海外旅行、登山、マジジャン、ゴルフ、ボウリングなど、手を出した遊びは数知れず。社会人サークルにも所属し、趣味が生きがいでした。

そんな自分の好奇心から「パソコン同好会」を立ち上げることになつたのです。そしていきなりの失敗。会長にお願いした女性会員が、ろくにサポートをしない私

に愛想を尽かして退会してしまつたのです。困り果てたところに手を差し伸べてくれた会員との出会いが、私の職業人生に大きな転機を与えてくれたのです。「面白そうだから一緒にやろう！ きつとうまくいくよ」。半信半疑でしたが、その言葉を信じることにしました。

それから協力を惜しまない多くの会員が現れて、平成二十四年から始めたそのサークル活動が今では十六のサークル、登録会員七百人のうち約二百人の会員が、サークル活動で生き生きと活動しています。

私には本気で取り組むと協力してくれる、素晴らしい会員という財産がある。そのことが、自分に自信を与えてくれました。

さらに、サークル活動が就業にも良い影響を与えました。これまで嫌々仕事をしてきた会員が、サークルで仲間ができたことが刺激となり、一生懸命に仕事に取り組み始めたのです。

●出合いを演出する地域班活動

サークル活動が軌道に乗り、次に何かできることはないか。そう考えていたときに直面したのが、組織的な問題となつていった地域班活動でした。

公益社団法人となり、目的条文に「社会奉仕活動」が明記されました。当センターでも地域班で社会奉仕活動を行っています。当

時は低調でした。地域班とは何か。本気で取り組めば、きつと生きがいを生む場になるはず。そう考え、担当に手を挙げました。

そこで役立つたのが、サークルでの成功体験でした。会員がサークルという場で出合い、友人となる。そのような演出ができないかと、社会奉仕活動以外に人と人が出会う場づくりを協力してくれる会員と始めました。

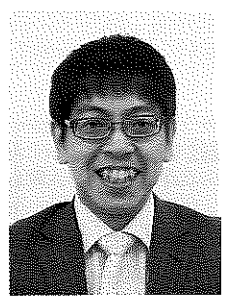
●広報という大きな翼

地域班でのお茶会、花見、忘年会、合唱会など試行錯誤を重ねながら、徐々に会員が地域班に参加してくれるようになりました。

多様な就業紹介、地域班、サークル活動と良い活動をしている自負がありました。これらの会員の生き生きとした活動を外部に知らせないという意味はない。そのような思いから、毎日ホームページの更新をしています。会員が生き生きと活動しているこの光景を市民に知ってもらおうとが口コミで広がり、会員増強、就業開拓につながっています。

埼玉県戸田市は、荒川を隔てた東京に隣接するベッドタウンです。県内で最も平均年齢が若い市で、人材獲得競争にさらされています。カメラを向けるとうれしそうにしてくれる会員たち。これも生きがいづくりなのかなと思うときがあります。

筆者のプロフィール



しらい よしのり
白井 義則
石川県羽咋市出身。平成十六年四月同センター採用。現在、主査

ホームページのリニューアルから二年間で八万アクセスを超え、今ではホームページ経由で就業が舞い込み、生きがいを求めて会員になりたい人たちが大勢来てくれるようになりました。また、広報誌およびカレンダーの全戸配布、活動写真などを外部に発信することでも大きな発展の翼となりました。「楽しい老後をありがとう」と言われることがあります。そんな会員に、今では笑顔で胸を張ってこう返答します。「あなたの生きがいの場をつくるのが私の「生きがい」ですから」と。



「健康麻雀 雀健礎（じゃんけんぽん）」(写真上)でサークル活動を楽しんだり、防犯パトロール(写真下)を行うなど、生き生きとした会員の姿が、ホームページに掲載されている
<http://webc.sjc.ne.jp/toda/index>

